

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:野村 正満
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
注意! 変更になりました。

鳥取発

ドナー登録30万人への道しるべ

2001年度通常総会&ボランティアの集いに多数の参加を

全国協議会の「2001年度通常総会」と「2001年全国骨髄バンクボランティアの集い」鳥取(主幹 鳥取県骨髄バンクを支援する会)が5月19、20日に鳥取県米子市で開かれます。主幹の鳥取の会より、メッセージが届いていますので紹介します。

道しるべ」この大会スローガンのもと、今年の「全国骨髄バンクボランティアの集い」と全国協議会総会が5月19、20日に鳥取県米子市で開催されます。19日の「ボランティアの集い」ではドナー登録30万人早期達成への道しるべとなるよう企画を検討しています。翌20日には全国協議会通常総会が予定されています。

皆さまのお越しを
お待ちしております

鳥取は日本海に面して自然が豊かでお酒がおいしく、海の幸、山の幸が豊富で近くには皆生温泉もありますので、日ごろの疲れを癒していただければと思います。



「ボランティアの集い」会場の米子コンベンションセンター(夜景)

心からのご寄付を ありがとうございました

2月15日~3月23日

高松西ライオネスクラブ	現金	100,000円
ピアノ三重奏(埼玉)	現金	35,000円
ピアノ三重奏(千葉)	現金	11,757円
鈴木純子	現金	1,680円
竹田浩樹	現金	3,000円
甲山中学校生徒会	現金	118,384円
切明蹊	現金	20,000円
中野義樹	現金	10,000円
(株)多田屋楽器サンピア店	現金	25,000円
八幡屋チャリティコンベン	現金	256,458円
山村詔一郎	現金	1,592円
品川保弘	現金	5,250円
多田そうべい	現金	50,000円
中村勘九郎	現金	100,000円
山口順一郎	現金	10,000円
匿名	切手	630円
河合杜素子	現金	10,000円

●佐藤さち子患者支援基金	現金	20,000円
切明蹊	現金	20,000円
●白血病患者支援基金	現金	10,000円
(有)アートビジョン	現金	1,271,921円
ジャスコ株式会社	現金	(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

全国協議会の 財源確保に ご協力を

全国協議会の台所は現在、綱渡りのような苦しい状況が続いています。今年度に入って寄付収入は例年に比べ激減(約1500万円の減)しています。事務局では、支出の削減に努力していますが、かなり厳しい状況に変わりはありません。

患者支援募金箱の設置、寄付のお願い等、全国協議会の財源確保に是非みなさまのご協力をお願いいたします。
(会計担当理事 庭野)

第1回役員選考のための選挙結果

第1回役員選考のための選挙の開票を3月11日 全国協議会事務局にて行いましたので、その結果を下記の通り報告します。

選挙管理委員長 渡辺孝一 2001年3月12日

1. 近畿地区推薦理事			2. 公募理事		
名前	得票数	結果	名前	得票数	結果
名川 和志	7	当選	池田 直樹	47	当選
山村詔一郎	4	当選	庭野 光世	46	当選
村上 耕一	2	次点	木村 紀	44	当選
			菅 早苗	44	当選
			福崎 豊一	44	当選
			笠原 慶一	43	当選
			中谷 康一	43	当選
			二見 茂男	39	当選
			山田 洋資	12	

※公募理事の選挙で最低得票数(今回は16票)に満たない場合は次点にはなれません。

全国協議会10周年記念事業 医療相談会に110名の参加(東京)

「公的骨髄バンクを支援する東京の会」が全国協議会10周年記念事業として「血液難病に関する医療講演会&相談会」を3月11日(日)に開催し、患者、家族、ボランティアなど約110名参加しました。

第一部の講演会では、まず、社会保険労務士の金井恵美子先生が障害年金について分かりやすく解説してくださいました。次に、医科系の看護婦である森令子先生が治療の副作用の防止と対処法についてスライドを使って解りやすく説明してくださいました。

行いました。また、個別相談会と同時並行で「患者・家族交流会」を開き、日頃の悩みや闘病の仕方について意見交換をしました。
(池田直樹)

第11回 理事会報告



報告事項

- 2月会計報告
- 会計の現状の訴え
- 募金箱の設置願
- 10周年関連事業の状況について
- 小冊子編集状況について
- 佐藤さち子患者支援基金について
- 理事会提案書フォームについて

協議事項

- 規約諸規定について
- 2001年度総会及び米子大会に向けて
- 白血病患者フリーダイヤル運営規程について
- ケーブルテレビPRについて

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●中央省庁初、厚生労働省でドナー登録会開催。東京23区も開催へ
2月のドナー登録者数は1216人でしたが、取消数は過去最高の849人にのぼり、実質増加数は367人とどまりました。登録会は20回実施され(うち献血並行型17回)、合計309人の方にご登録をいただきました。都道府県別開催数は、沖縄8回、東京5回、和歌山2回、福島1回、千葉1回、神奈川1回、埼玉1回、佐賀1回という実績でした。

2月28日(水)、3月1日(木)両日、厚生労働省講堂においてドナー登録会が開催されました。これは、年2回、厚生労働省で定期的に行われている職場献血会にあわせて実施されたものです。2日間で献血者315人と65人のドナー登録者がありました。庁舎内の各職場への事前の開催案内だけでなく、全職員にチャンス配布。医療・保健衛生の所管官庁ということで、職員の関心は高いものがあり、献血者に対するドナー登録の割合は、20.6%と高い率をしめしました。一方で、いままです登録の仕方がわからなかったという声も聞かれました。今回の登録会の開催にいたるまでの、関係

各位のご尽力に心よりお礼を申し上げます。
2月21日(水)には、東京都港区役所で、東京23区(特別区)初の献血会場におけるドナー登録受付が実施されました(献血者113人、ドナー登録者7人)。2月27日(火)には、第2段として大田区役所でも実施されました(献血者110人、ドナー登録者12人)。さらに、3月14日(水)には渋谷区役所においても実施され(献血者79人、ドナー登録者7人)、他の特別区からも問合せが相次いでいます。

●骨髄バンク「患者問い合わせ窓口」を開設しました
骨髄移植推進財団事務局に「患者問い合わせ窓口」を開設いたしました。当窓口では、骨髄移植を考えている患者さんとその家族のために、骨髄バンクに関する質問などに回答すると同時に、骨髄移植に関する情報提供も行っています。登録されている患者・家族の方々の利便を図り、骨髄バンクに関する理解を深めていただくための趣旨で開設したものです。
当窓口では、骨髄バンクに登録された患者さんに、「患者さんと主治医のためのパンフレット」「骨髄バン

クニュース」など、資料セット一式を送付致します。概要は以下のとおりですので、どうぞお気軽にお問い合わせください(なお、医学的な判断に関するご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください)。
○電話番号:03-3355-8699(ハロ-QQ)
○開設時間:月~金の平日 10:00~12:30、13:30~15:30
○対応内容:骨髄バンク利用に関する質問/コーディネートの進み方について/骨髄バンクにお支払いいただく費用について/患者とその家族のための協力機関のご紹介/「患者さんと主治医のためのパンフレット」送付/その他

●中溝裕子さん著「みんながいるから 今があるから」が出版されました
1991年に骨髄異形成症候群を発病し、97年に妹さんからの骨髄移植をうけたプロゴルファーの中溝裕子さん。彼女が病床で書きためた絵手紙と一筆書きをおさめたエッセー集が、集英社から出版されました(定

骨髄バンクNOW

価1680円)。「よくぞ耐えたぞ 長き入院生活 奮めてつかわす」など筆文字からは力強い生へのメッセージが伝わります。彼女の合併症との闘いは現在も続いています。ホームページ(http://www.nakamizobook.com)などを通じて、ドナー登録を呼びかけてくださっています。

●日本骨髄バンクの現状(2001年2月末現在)			
	1月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,184	134,966	162,044
患者登録者数	121	1,625	10,513
骨髄移植例数	65	-	3,205

数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
0120-892-106



佐賀
事前広報の成果
37名が登録

2月18日(日)九州ジャスコ佐賀やまと店の協力で集団登録を行い、新たに37名のドナーが誕生しました。

佐賀では、伊万里市(20名)、佐賀市(66名)、今回は3回目で商業施設では初めてです。九州一の規模を誇る客層も佐賀県の半分を占める程で、事前の広報活動も2市20町村の役場、公民館、金融機関、事業所



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。



等にチラシ5000枚、ポスター1400枚を数回に分けて配布しました。

主催は財団になっておりましたが、広報委員とその娘さんだ。佐賀骨髄ドナーセンターが3名、あとは我々佐賀県支部が8名、佐賀北ライオンズ10名がチラシ配り、買い物客の呼び込みや案内等に頑張りました。会場設備のノボリ、横断幕、看板等も私達の仕事、弁当代も自前でした。もっとボランティアを大事にして欲しいと思います。(職持)

高知
南国市で第9回
骨髄移植講演会

3月2日(日)午後1時開会。地元・南国ライオンズクラブの尽力で、商工会館3階ホール300名満席の視聴者を集めて恒例の講演会を開催しました。「骨髄バンクと移植に必要な血液病」高知医大・砥谷和人医師のスライド解説。高知短大看護学生、約100名が前列で熱心に受講されました。

その後、骨髄提供者の真摯な体験談につき、移植後5年、病苦と闘った娘(故人)の青春を母親の観点からの談話「家族骨髄移植の体験を活かして」は、



全参加者の涙を誘いました。質疑の主要なものは

①骨髄提供と移植が高知県内で実施できないものか
②提供者(提供時)をもっと優遇すべき(体験者談)
③末梢血幹細胞移植・県第1号の成功に期待(医師談)

質疑に対して医師団から適切な説明と指導があったのち、本年度提供者3名に感謝状と記念品を宮地会長から贈呈しました。来年度は、県内高校・大学生ら若い人たちにの講演会(魅力あるエンターテイメントを含め)を開催したいものです。(野村)

愛知
あいちちゃんの
イチゴ登録会

愛知県東三河地方における初めての休日骨髄ドナー登録会が

18日に新城、20日に豊川の両保健所にて県、財団主催で行われました。人口の少ないこの地方での登録会ということで、いかに人を集めるのがポイントでしたが、一患者を表に出し、その思いを身近に感じられるようにとそのタイトルを「あいちちゃんのイチゴ登録会」と県の担当者が名付けました。

生後4カ月のあいちちゃんのお父さんの周りの市町村などの広報誌、同級生、団体等へのチラシの配布等様々なPRを行いました。地元の新聞、テレビラジオ等も各社でとりあげてくれました。予約者は初めこそポツリポツリといった感じでしたが、登録会までには両保健所合わせて予約76名、当日79名の計155名の方に登録していただきました。(加藤)



山梨
昭和町で映画とシン
ポの集い

骨髄バンク・シンポジウムが3月14日、山梨県昭和町において行われました。

「いのちのあさがお」の映画上映の後、骨髄移植推進財団の植岡健一事務局長が「骨髄バンクの現状と課題について」と題して基調講演を行い、続けて「ドナーになるということ」をテーマに、骨髄移植経験者の鎌田麗子



さんがコーディネーターになり、ドナー経験者の小松賢一さん、甲府南ライオンズクラブの深沢貢さん、県骨髄バンクを推進する会の高遠勲さんがパネリストを務め、移植を待つ側、ドナーとなる側のそれぞれの立場についての意見が出されました。本県でも休日に登録が行えるようになったばかりなので、1人でも多くの人たちに理解され、ドナー登録件数が増えるように、機会あるごとに普及・啓発活動を行っていきたいと思います。(鈴木)

東京
65名の登録を弾みに
30万人を目指そう

3月11日(日)、JR立川駅ビル「ルミネ」6階のウィルブラザにて、財団主催のドナー登録会が行われました。東京の会からは4名程が応援に駆けつけ、チラシ配布や説明員としてお手伝いしました。

駅の改札から続くコンコースの途中で、チラシとティッシュを配りながら登録を呼びかけましたが、のぼりを立てる許可が下りなかったで声だけが勝負です。12〜3名で、駅ビル6階での登録会開催をPRしました。6階の会場前でも、レスト



ラン街へ向かうカップルや家族連れに呼びかけを行い、結果は予約6名を含む65名の方に登録いただき大成功。最近行われた東京の登録会では一番の登録者数です。これを弾みに、ドナー登録者30万人を目指して今年も頑張りたいと思います!(福水)

千葉
チャリティ
ゴルフコンペ

3月13日(火)第17回八幡屋チャリティゴルフコンペが東急セブンハンドレットクラブで盛大に開催されました。積雪の予報が出ていたので心配



配していましたが、当日は冷たい風ではありませんでしたが、普段は仕事に追われる2008名の参加者も、この日はばかりはなにもかも忘れてプレーに興じ、腕を競い合いさらに親睦を深めました。

プレー終了後のパーティーの席上、大会委員長八幡屋中村雅人様より、骨髄バンクの必要性と30万人のドナー登録に向けてみなさんにも協力していただくようご挨拶して頂きました。骨髄バンクへの募金も今回で5回目となりました。本当にありがたいことです。参加者の皆さんにも、回を重ねるたびに真心を持って頂けるようになりました。八幡屋中村雅人様・静子様ご夫妻には、日頃のご協力に深く感謝致しております。(小倉)

栃木
「県民の集い」と
併行して登録会も

「どちぎ骨髄バンクを広める会」では、栃木県と共催で、3月3日(土)鹿沼市民情報センターで「第16回骨髄バンク支援栃木県民の集い」を開催しました。午前中は映画「いのちのあさ

がお」を3回上映し、午後からは、丹後まみこさんの講演「いのちのアサガオ」コーちゃんからの贈り物」と映画上映を行いました。

来場者は午前午後あわせて約120名でした。

別室では、栃木県がドナー登録会を実施。予約13名、当日希望者7名で、実登録者は18名でした。当日は骨髄移植推進財団から2名の講師にお願いいただき、当会のメンバー5名が登録説明員養成のための実地研修1回目をさせていただきました。(辻)



三共株式会社

GET POWER! Regain!

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に 成人(15才以上)1日1回1本。
Jリゲイン 100ml・194円 / リゲイン-A 50ml・500円 / リゲイン 50ml・291円 [医薬部外品]
価格はすべてメーカー希望小売価格(本体価格) http://www.sankyo.co.jp/healthcare/